

# 社会福祉法人 よしだ福社会



施設外観

- 所在地  
雲南市吉田町深野84番地6
- 労働者の人数（うち障害者の人数）  
49名（4名）
- 事業内容、特長・強み  
「地域の皆様に必要とされ、地域に根差した施設を目指します」を理念に、地域で暮らし続けるを支援します。
- 大切にしていること  
ご本人の想いや生き方を大切に、元気な時から最期まで、切れ目のない支援の提供を目指しています。

障害者雇用のきっかけについて教えてください。

初任者研修の様子

自分から、そしてご家族から就職について直接相談に来られたことからはじまりました。それから、制度につなげ、障害者職業生活相談員を増やしました。



障害者雇用にあたって意識していることや工夫していることについて教えてください。

障がいの有無にかかわらず職員の個性はそれぞれ。問題があればその解決は職員全体の解決となることを意識しています。

最初に工夫したのは「〇〇はできない、でも〇〇はできる」を基本にしたところです。



車椅子介助



障がい者就労中の様子

これから障害者雇用に取り組む企業に対しメッセージをお願いします。

私たちは障がいを多様性と考えています。共生が当たり前の時代です。法人の姿勢が職員の意識につながっていきます。『いろいろあって、みんないい』を目指してはいかがでしょうか。

Q

障害者を雇用したことがないので障害のことがよくわかりません。貴社では、どのような障害者を雇用されていますか。

A

当法人では知的障がい、精神障がい、身体障がい、内部疾患による障がいの方が、現在働いておられます。

Q

当社ではバリアフリーが整っていないので、障害者の雇用は困難です。貴社ではバリアフリーが整っていますか。

A

福祉施設なので、もともとバリアフリーになっています。また駐車場の場所や机などの配置を配慮するなどもおこなっています。ちょっとした配慮は働きやすさにつながります。

Q

障害者を雇用したことがないので、障害のことがよくわからず、どのように障害者と関わっていいかわかりません。貴社では障害者とどのように関わっていますか。

A

ある程度の知識はある私たち福祉職員でも、共に働くとなると説明や理解が必要です。事前に法人内での研修を行い、本人からもできる事できない事を伝えてもらっています。働き始めてからは、エルダー（教育係）の担当者が面接を行い、業務の量や内容のマッチングを行っています。またエルダー（教育係）の担当者が判断に迷った時には、障害者職業生活相談員などの専門の相談支援者に相談するようにしています。

Q

障害者を雇用することは企業にとって負担になるのではないかと考えています。企業として障害者を雇用するメリットはなんですか。

A

負担と感じたことはありません。障がいの有無に関わらず人はみな違いますので、それぞれの配慮が異なるだけです。働きにくさを経験しておられるためか、仕事に対して真摯で真面目な方が多いです。職員間では相手にわかりやすく説明するスキルがあがり、メリットと感じています。

Q

当社は慢性的に人手が不足しており、障害者を雇用したとしても現場での指導体制や社内の支援体制が整えられません。貴社では、どのように体制を構築しておられますか。

A

慣れるまでは、本人の戸惑いを軽減することから窓口を一人決めました。通常の業務を教えるエルダー、エルダーを支える障害者職業生活相談員、その相談員を支える障害者生活支援センターやハローワークという相談体制は作りました。

障がいの方に対して窓口をひとつにすることは大事と考えています。どこも人手不足です。きっと企業の力になります。

Q ハローワークから障害者を雇用するよう指導されたことから、障害者雇用を進めなければいけないと考えていますが、社内全体の理解が得られない状況です。貴社が障害者雇用を進める際、同じような悩みはありませんでしたか。また、社内全体で取り組むため、なにかいい方法があれば教えてください。

A 障害者の受け入れについて準備を進めるために、職員に向けた研修開催はいいと思います。当法人では“あいサポーター研修”を全職員に向け開催しました。

Q 当社には専門的な業務しかなく、障害者に任せられる業務がありません。専門的な業務しかない企業でも障害者を雇用することはできますか。また、貴社では障害者にどのような業務を担当してもらっていますか。

A 介護現場で請求事務、直接介護や介護補助業務などをしてもらっています。事務と思って雇用しましたが、初任者研修を受け資格を取られ、介護現場に変わられた方もあります。介護補助業務は、同じ作業を繰り返すことでミスなく一人でできるようになりました。マッチングしていくと可能性がひろがります。

Q 障害者を雇用した場合、業務上の事故により怪我をしてしまうのではないかと心配しています。貴社ではそのような心配はありませんか。

A 採用時に安全に関する教育は実施しています。ヒヤリハット、環境ヒヤリハットを毎月会議にかけ、早めの対応、解決を心がけています。障がいの方だから危ないというのは、ありません。職員への安全対策につながっています。

Q 障害者を雇用したとしても、長く続けてもらえるか心配です。貴社ではそのような心配はありませんか。また、障害者の方が長く続けていけるよう配慮していることはありますか。

A 他法人から変わられた方が多く、今のところ長く勤めてもらっています。一番はコミュニケーションだと思います。気持ちを表しにくい方が多いので、話してもらうように面接の場面の配慮はいると思います。孤独にさせない、孤立させない。が大事だと思います。

Q 障害者雇用を進める際に利用された制度はありますか。

A

- ・トライアル雇用助成金（障害者短時間トライアルコース）
- ・特定求職者雇用開発助成金（特定就職困難者コース）

を利用しました。

Q 障害者雇用を進める際に利用された支援機関はありますか。

A

- ・ハローワーク

を利用しました。